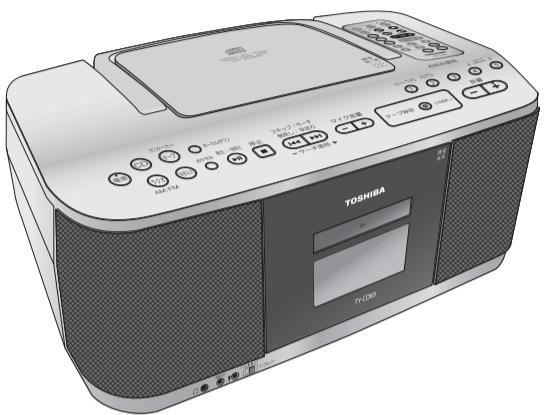


東芝 CD ラジオカセットレコーダー 取扱説明書

形名 TY-CDK9

COMPACT
DIGITAL AUDIO日本国内専用
Use only in Japan

- このたびは CD ラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書に付いていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

003

東芝CDラジオカセットレコーダー保証書

持込修理品	
形名 TY-CDK9	
お名前	ふりがな
お客様住所	〒□□□-□□□□
保証期間	本体 1年 ★お買い上げ日 年□月□日から
販売店	住所・店名
電話	

東芝エルイートレーディング株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-8(東芝万世橋ビル)

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそつた正しい使用のもので、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそつて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することができます。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。

(ロ) 買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。

(ハ) 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、雷害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

(ニ) 本書のご提示がない場合。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の完全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守せますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-8(東芝万世橋ビル)

安全上のご注意

お使いになる人や他の人のへの危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

- △警告** 「死亡または重傷を負うこと 想定されること」を示します。**△注意** 「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

- 禁止** してはいけないこと(禁止)を示します。**指示** しなければならないこと(指示)を示します。

もし異常が起こったら

- △警告** •異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
(異常・故障例)
・煙が出たり、異常ににおいや音がある
・電源コードが異常に熱い
そのまま使うと火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグについて

- △警告** •電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
•本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるため、電源プラグはよく見て容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する
•電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、プラグを抜き、ゴミやホコリをとる
•電源コードを取り扱うときは、次のことを守る
・傷つけない・延長するなど加工しない・加熱しない・引っ張らない・重いものを載せない
・無理に曲げない・ねじらない・束ねない
•電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く取り扱いを誤ると、感電や発熱による火災の原因となります。

- 禁止** •ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
火災・感電の原因となります。

△注意

- 指示** •長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化などにより、火災の原因となることがあります。
禁止 •電源コードは付属のもの以外を使用しない
•付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災・感電の原因となります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター

TEL 0120-28-0488 受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・IP電話など

050-3786-0488 (通話料：有料)

FAX

03-3258-0470 (通話料：有料)

保証書(一本)

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えた場合。
- 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障、損傷。
- 出張修理を行った場合には出張に要する費用を申し受けます。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理期間はお買い上げの日から1年間です。
- 修理の際に取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で取り扱っていただきます。
- 修理料金は技術料・部品代などで構成されています。
- 修理料金は故障した商品を正常に修復するための料金。
- 部品代は修理に使用した部品代。

修理を依頼されるときは

持込修理品

本書に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

■保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

便利メモ お買い上げ日 年 月 日 お買い上げ店名 電話 ()

愛情点検

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような症状はありますか？

- 電源コードが傷んでいる
- 煙がでる
- 変なにおいがある
- その他の異常や故障がある

ご使用 故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

必ずお守りください

ご使用について

△警告

- 指示** •持ち運ぶときは、FMアンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く
•落したり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
取り扱いを誤ると、火災・感電・けがの原因となります。

- 禁止** •分解・修理・改造はしない
•電源コードをコンセントから抜く
•壁に押しつけない(背後10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける)
•押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込みない
•じゅうたんや布団の上に置かない
•おあ向け・横倒し・逆さまにしない
火災・感電・事故の原因となります。

△注意

- 花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない
- CDやカセットの挿入口に手を入れない
- CDピックアップのぞき込みない
- 本機の上のついたり、重いものを見たりしない
- ヘッドホンの音量を上げすぎない
- 長時間、音が歪んだ状態で使わない
- が・故障・火災などの原因となります。

設置について

△警告

- 次のような場所での使用、設置はしない
•雨天時の屋外や浴室など、水がかかるたり、湿気の多い場所
•雨、きりなどが直接入り込む場所、火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所
•直射日光の当たる場所、炎天下の車内、ホコリの多い場所
•調理場など油煙や湯気の当たる場所・振動の強い場所
•腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
•極端に高温、低温、温度変化の激しい場所・ぐらぐら台の上や傾いた所など、不安定な場所
本機の破損・火災・感電の原因となります。

お願い

- 近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

乾電池について

△警告

- 電池が正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用する
- 火災・感電・けがの原因となります。

△注意

- 乾電池を取り扱うときは、次のことを守る
•指定以外の乾電池を使わない・極性表示(+)と(−)を間違えて挿入しない
•充電・加热・分解・ショートしたり、火の中に入れない
•乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない
•水にぬらしたり、ぬれた手で触れない・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない
•長時間使わないときは、本機から乾電池を取り出す
発熱・液漏れ・破裂などにより、火災・感電の原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具について場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

故障かな?と思ったとき

症状

原因

処置方法

電源が入らない

- 供給プラグが電源端子(AC IN～)からはずれている
- 供給プラグが電源端子(AC IN～)の途中までしか入っていない
- 電源コンセントにプラグが入っていない
- 電池槽を開け(乾電池でお使いの場合)
- 乾電池が消耗している(乾電池でお使いの場合)

音が出ない

- 音量レベルが下がっている
- ヘッドホンが差し込まれている
- 音源切り替えが合っていない

CDプレーヤー部

- 再生が始まらない
- CDが裏返しになっている
- CDが汚れている
- CD装着部のレンズが汚れている

音がとぶ

- CDに大きな傷やさりがある
- 振動する場所に設置している
- CD装着部のレンズが汚れている

再生が止まる

- 乾電池で再生中に電源コードをつなぎだす
- 電源コードをはずす、乾電池を取り出して直す

テープレコーダー部

- カセットが入らない
- カセットの向きが上下逆になっている
- カセットが正しく入っていない

テープが走行しない

- カセットの不良
- テープが全部巻き取られている

録音されない("LoC"表示になる)

- ツメの折れたカセットを装着している
- カセットをとりかえる

音がとぎれる、音程が狂う消去が不完全

- ヘッド部が汚れている
- 乾電池が消耗している

ラジオ部

雑音が多く聞きづらい

- 電源雑音の影響を受けている
- モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている
- 電波が弱い

お願い

- 操作中に、液晶表示の異常や本機の動作異常が認められた場合は、以下の手順で電源を入れ直してください。
電源を切り・電源プラグ(または電池)を取り外す→数分待った後、電源プラグ(または電池)を取り付ける
→電源を入れる
→長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により再生・録音ができなかった場合や、録音した内容が破損・消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償および、それに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復や複製、復元などはいたしません。

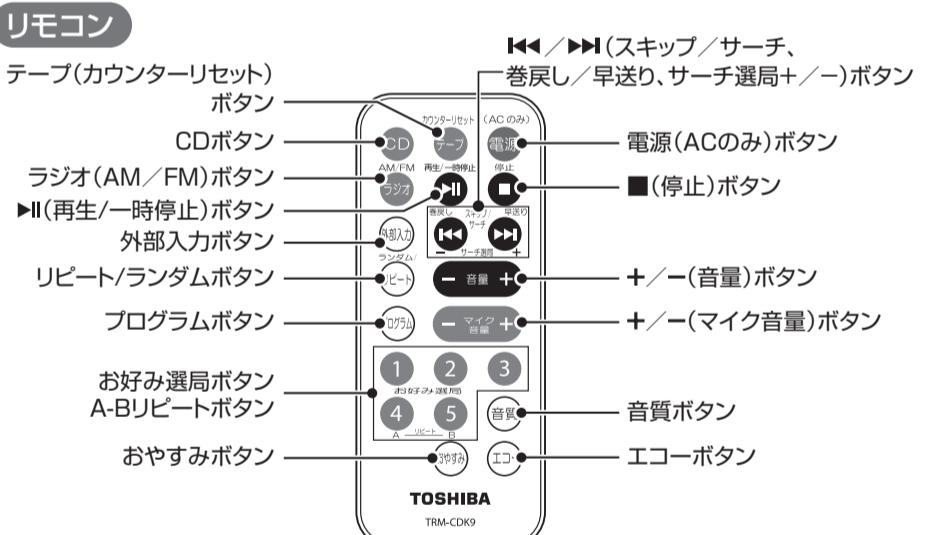
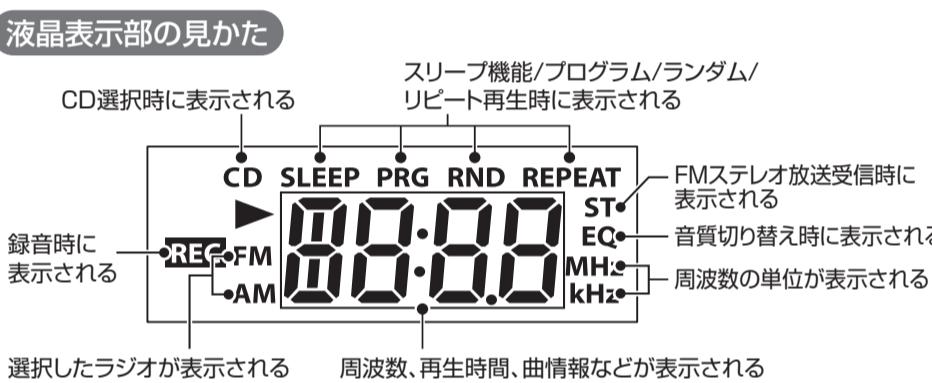
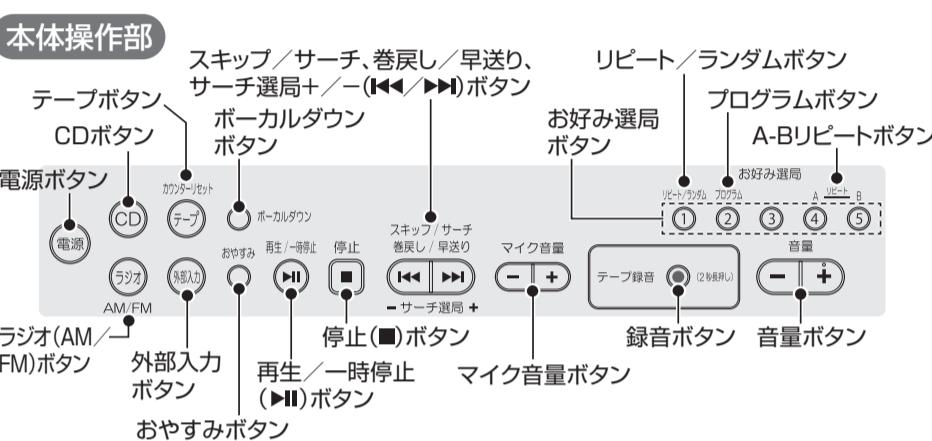
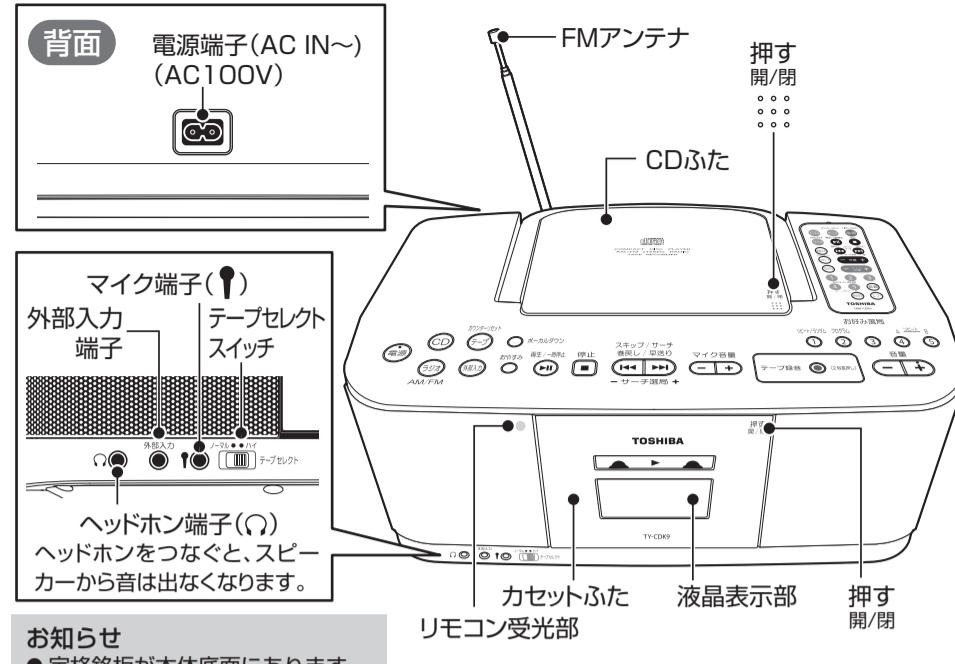
著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてのお願い

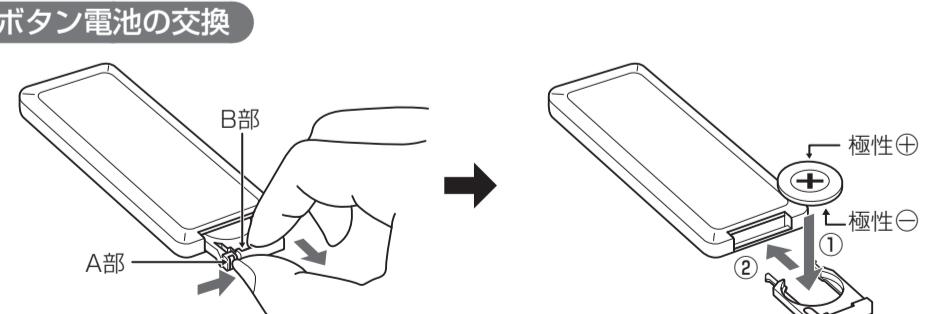
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音機能のチェック・ためし録りをしてください。

各部のなまえ



ご注意

- 購入後初めてリモコンを使うときは、電池ケース部の絶縁シート（透明）を引き抜いてください。
- 取り付け済み（付属）の電池はおためし用です。
- 本体のリモコン受光部の正面から約5メートル、左右30度の範囲内で使いください。



①電池ケースのA部を親指のツメで矢印の方向に押しながら、人差し指のツメをB部にかけて引き出す。
②電池ケースの古いリチウム電池を取りはずし、新しいリチウム電池(CR2025)を図のようにはめ込み(①)、カチッと音がするまで押し込む(②)。

ご注意

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池の極性（+と-）は正しく入れてください。

電源について

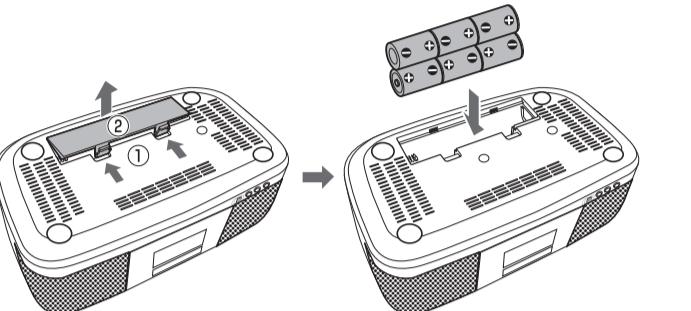
家庭用電源(AC100V)で使うとき

- 付属の電源コードの供給プラグを背面の電源端子(AC IN～)(AC100V)の奥までしっかりと差し込む
※電源供給プラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがありますので、プラグは必ず奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグを家庭用電源(AC100V)のコンセントへしっかりと差し込む

お願い
●電源プラグを抜き差しするときは、電源を切ってから行ってください。

乾電池(別売)で使うとき

本体底面の電池ふたのツメ(2カ所)を押しながら(①)持ち上げて開け(②)、別売の単2形乾電池6本を図のように入れ、ふたを閉めます。



●極性(+)と(-)を正しく入れてください。
●電源コードが電源端子に接続されていると、家庭用電源が優先してはたらきます。乾電池で使うときは、電源コードをはずしてください。
●長期間(1ヶ月以上)使用しない場合や家庭用電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

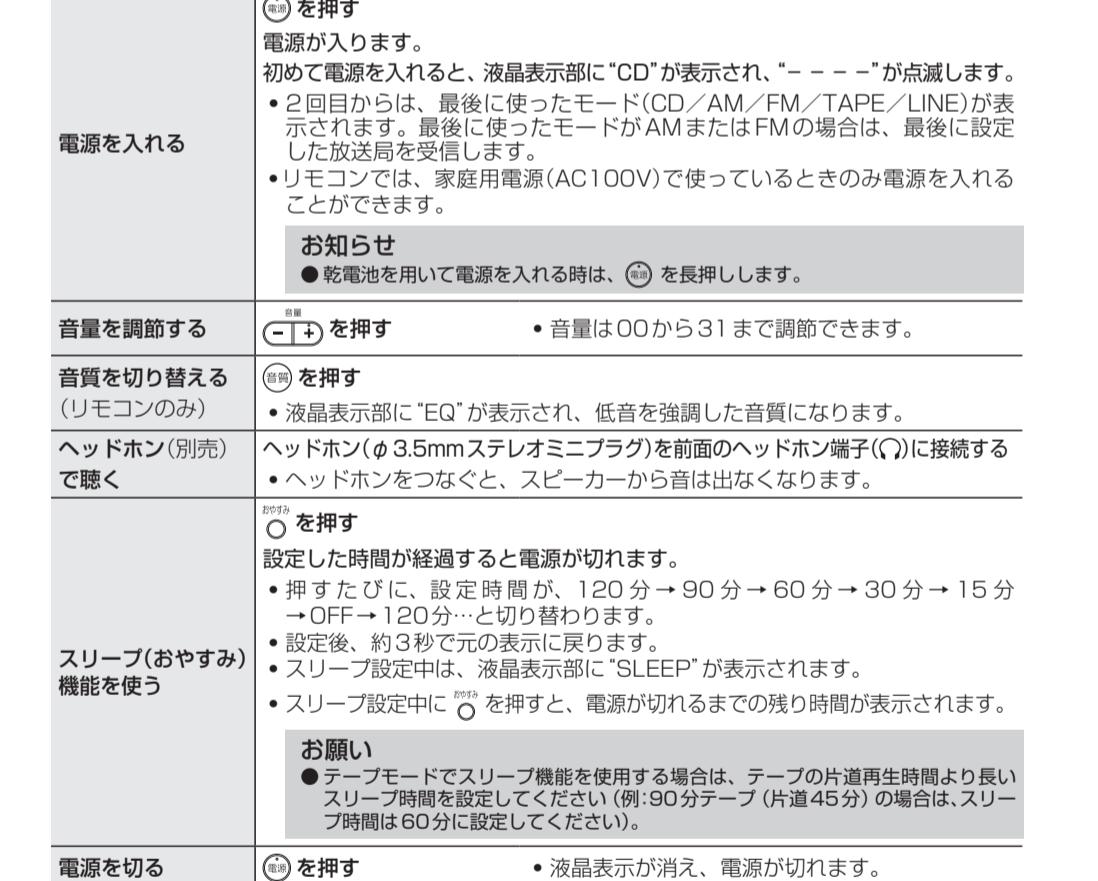
●乾電池が消耗していくと、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CDやテープが正常に動作しない、などの現象が生じます。

共通操作について

●本書では、本体での操作を中心に説明しています。

ボタンの押しかたについて

●押す…短く押して放すことです。(2秒未満) ●長押しする…長く押し続けることです。(2秒以上)



CDを聞く

1 電源を入れ、○を押してCDモードにする

液晶表示部に“---”が約5秒間点滅し“no Cd”が表示されます。
●CDが入っている場合、総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 ○を押してCDふたを開け、印刷面を上にしてCDを入れる

●CDは軸にしっかりとめ込んでください。

3 CDふたを閉める

カチッと音がするまで押して、確実に閉めてください。

4 ○を押す

液晶表示部に“▶”が表示され、曲番1から再生が始まり、演奏中の曲番と経過時間が表示されます。

一時停止する	再生中に○を押す ●もう一度○を押すと、再生が始まります。
停止する	□を押す ●□を押さなくても最終曲が終了すると停止します。 CDを取り出すには：CDの回転が止まってから□を押してください。
早送り／巻戻しする	再生中に(◀▶)を長押し ●◀を押し続けると早送りになります。 ●▶を押し続けると巻戻しになります。
頭出しをする	再生中・一時停止中に(◀▶)を押す ●◀を押すたびに、1曲ずつ次の曲へ進みます。 ●▶を押すと再生中の曲の頭に戻り、2回押すと前の曲の頭に戻ります。

プログラム(曲順)の設定

お好みの曲を20曲まで選び、設定した曲順に再生することができます。

1 停止中に○を押す

液晶表示部に“PRG”とプログラム番号“P01”が点滅します。

2 “P01”が点滅している間に、(◀▶)を押してプログラム設定をしたい曲番を選ぶ

3 ○を押し、決定する

P01が登録され、液晶表示部に次のプログラム番号“P02”が点滅します。

4 引き続きプログラムを設定する場合は、手順2～3を繰り返す

●最大20曲まで設定すると、液晶表示部に“FULL”と表示されます。

5 □を押す

プログラム設定を確定して終了します。

6 ○を押す

プログラム番号P01から再生が始まります。

プログラム予約した曲番の確認をする

●○を押すたびにプログラム予約した曲番が表示されます。

プログラム設定を取り消す

●他の音源に切り替える、または電源を切る
●CDふたを開けても、プログラム設定を取り消すことができます。

リピート・ランダム再生/A-Bリピート再生

停止中や再生中に○を押すたびに、次のように切り替わります。
1曲リピート再生(“REPEAT”が点滅) ⇒ 全曲リピート再生(“REPEAT”が点灯) ⇒ ランダム再生 ⇒ 解除 ⇒ 1曲リピート再生…

1曲リピート再生

●○を押す

全曲リピート再生

●○を2回押す

ランダム再生

●○を3回押す

リピート再生/ランダム再生の取消

●リピートまたはランダム再生中に表示が消えるまで○を押す

●プログラム再生の時でも、リピート(1曲リピートと全曲リピート)再生できます。

特定の区間(A-B)をリピート再生します。

A-Bリピート再生

●○を押す

再生中に、リピート開始位置(A点)で○を押し、リピート終了位置(B点)で○を押す

リピートするA-B区間が設定され、リピート再生が始まります。

●○を押してリピート再生を取り消します。

再生中に、リピート開始位置(A点)で○を押し、リピート終了位置(B点)で○を押す

リピートするA-B区間が設定され、リピート再生が始まります。

●○を押してリピート再生を取り消します。

再生中に、リピート開始位置(A点)で○を押し、リピート終了位置(B点)で○を押す

リピートするA-B区間が設定され、リピート再生が始まります。

●○を押してリピート再生を取り消します。

ラジオを聞く

1 電源を入れ、○を押してラジオモードにする

押すたびに、FM放送とAM放送が切り替わります。

2 ○を押して放送局を選ぶ

○を長押ししてボタンから指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します(自動受信)。

別の放送局を自動受信するとき、または自動受信中の受信ノイズ(雑音)で停止したときは、もう一度長押しします。

●FMステレオ放送を受信した場合は、液晶表示部に“ST”が表示されます。

よりよい受信をするために

FM放送

FMアンテナを伸ばし、最もよく聞こえる方に向けてください。

AM放送

本体の向きを変えてください。

FMステレオ放送の受信について

●ステレオ放送を受信すると、液晶表示部に“ST”が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り替わり、“ST”表示が消えます。

●FMステレオ放送受信時に○を押すと、ステレオからモノラルに切り替えることができます。

●AMステレオ放送には対応していません。

放送局の登録(お好み選局)

よく聞く放送局をFM／AM放送ごとに5局まで、お好み選局ボタンに登録できます。登録した選局ボタンを押して放送局を切り替えます。

1 ○を押してFMまたはAM放送を選び、(◀▶)を押してお好みの放送局を選ぶ

●○を押すとFM放送が選択され、(◀▶)を押すとAM放送が選択されます。

2 お好み選局ボタン①～⑤のいずれかを選び、3秒以上長押しする

液晶表示部の“PRG”とお好み選局ボタン番号が点滅して、放送局が登録されます。

3 他の放送局を登録するときは、手順1～2を繰り返す

お好み選局した放送局を選ぶ ラジオを受信しているときに、お好み選局ボタン①～⑤のいずれかを押す

外部音声機器の音声を聞く

1 外部音声機器の音声出力端子(イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子)を本機の外部入力端子へ接続する(接続コードは別売)

2 電源を入れ、○を押して外部入力モードにする 液晶表示部に“LINE”が表示されます。

3 接続した音声機器を操作して音声を再生する 本機のスピーカーから音声が流れます。

お好み選局した放送局を選ぶ ラジオを受信しているときに、お好み選局ボタン①～⑤のいずれかを押す

1 電源を入れ、○を押してテープモードにする クロームテープやメタルテープを再生する場合は、テープセレクトスイッチをハイにセットしてください。

2 カセットふたの開/閉を押してカセットふたを開け、カセットを入れる 再生したい面を手前、テープの露出している辺を下向きにして(正立) カセットふたのガイドに沿ってカセットを入れます。

再生したい面の左側にテープが巻き取られていることをご確認ください。

3 カセットふたの開/閉を押してカセットふたを閉める

お好み選局した放送局を選ぶ ラジオを受信しているときに、お好み選局ボタン①～⑤のいずれかを押す

再生したい面の左側にテープが巻き取られていることをご確認ください。

4 ○を押す 再生が始めます。

お好み選局した放送局を選ぶ ラジオを受信しているときに、お好み選局ボタン①～⑤のいずれかを押す

再生中に○を押す ●もう一度○を押すと、再生が始まります。

停止する □を押す

早送り／巻戻しする □または▶を押す